

科目	公衆衛生学	時期	1 年次後期	単位数	1 単位	実務経験
		担当教員	滝川 洋子	時間数	15 時間	○ (保健師)
目的	社会における組織的な保健活動について学び、人々の健康と生活環境の関連を理解する。					
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆衛生 public health 「みんなの健康」という言葉の意味を理解する。 2. 公衆衛生の国レベル・地方レベル・住民レベルのさまざまなしくみと住民の健康を守る、さまざまな法律と政策・事業・計画などの枠組みを知る。 3. 集団の健康状態を捉えるために指標の必要性和様々な健康指標について知る。 4. 地球規模の環境問題とその対策、健康への影響について理解する。 5. 公衆衛生看護とはなにかを理解する。 					
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆衛生のエッセンス <ul style="list-style-type: none"> ・ 公衆衛生の活動対象 ・ 公衆衛生のしくみ 2. 環境と健康 3. 集団の健康をとらえるための手法—疫学・保健統計 4. 国際保健 5. 地域における公衆衛生の実践① <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者保健 ・ 精神保健 6. 地域における公衆衛生の実践② <ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者保健・難病保険 ・ 感染症とその予防対策 7. 職場と健康・学校と保健 <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康危機管理.災害保健 					
授業形態	講義					
教材	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 [2] 公衆衛生 医学書院 国民衛生の動向 印刷資料					
評価	終講試験					